

15日(朝)

(聖句/コリントの信徒への手紙一 13章4、7節)

愛は寛容であり、愛は情け深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない。そしてすべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。

(祈り)

聖なる父よ、あなたの民に不動の信仰をお与えください。
永遠の輝きである御子が、乙女マリアから生まれ、
人となられたことを信じるわたしたちが、
現代の困難に打ち勝ち、まことの喜びを得ることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(詩編42編)

涸れた谷に鹿が水を求めるように
神よ、わたしの魂はあなたを求める。
神に、命の神に、わたしの魂は渴く。
いつ御前に出て 神の御顔を仰ぐことができるのか。
昼も夜も、わたしの糧は涙ばかり。
人は絶え間なく言う 「お前の神はどこにいる」と。
わたしは魂を注ぎ出し、思い起こす
喜び歌い感謝をささげる声の中を
祭りに集う人の群れと共に進み
神の家に入り、ひれ伏したことを。
なぜうなだれるのか、わたしの魂よ なぜ呻くのか。
神を待ち望め。
わたしはなお、告白しよう
「御顔こそ、わたしの救い」と。
わたしの神よ。
わたしの魂はうなだれて、あなたを思い起こす。
昼、主は命じて慈しみをわたしに送り
夜、主の歌がわたしと共にある わたしの命の神への祈りが。
なぜうなだれるのか、わたしの魂よ なぜ呻くのか。
神を待ち望め。

(主の祈り)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。アーメン。